

環境経営レポート 2021

対象期間 2020年10月~2021年9月

株式会社 大西ライト工業所



・環境経営方針	P-2
・会社概要	P-3
・環境経営組織	P-4
・環境経営目標とその実績	P-5~P-6
・環境経営活動の取組と評価	P-7∼P-13

発行 2022年01月10日 株式会社 大西ライト工業所 EMS事務局

環境経営方針

「環境理念」

当社はプラスチック加工を中心とした事業を通じて顧客と 社会への貢献を目指し、その重要な側面として製品とプロセ スにおける環境への負荷の軽減に取り組みます。

「行動指針 |

- 1. 原材料・エネルギー・水などの資源を効果的に活用し、特に廃プラスチックの削減に努めます。
- 2. 環境経営を推進し、常に顧客や社会が求める環境面のニーズに応え、継続的改善に努めます。
- 3. 環境に関する法律・法令規則に注意し、 業務に関係する内容はその対応を明確にして、 遵守します。
- 4. これらの活動を全員で共有し、それぞれの 領域で実行します。

2020年10月1日制定 株式会社 大西ライト工業所 代表取締役社長 大あ 健太郎



会社概要

事業者及び代表者株式会社 大西ライト工業所代表取締役社長 大西 健太郎

・所在地

〒379-2206 群馬県伊勢崎市香林町2丁目1284

・環境保全関係の責任者及び担当連絡先

代表責任者 代表取締役社長 大西 健太郎

環境管理責任者 品質部長 富澤 均

担当 EA21推進事務局 剱持 聡

連絡先 TEL 0270-20-2115

FAX 0270-20-2116

・事業内容

プラスチック成形品の企画・開発、製造・販売 プラスチック金型の設計、製作、製造・販売

・事業規模

資本金 5,000万円

従業員数 71名

敷地面積 18,000㎡

·認証、登録範囲 全組織、全活動

・売上高 1,100,176千円 (2021年度)

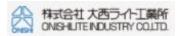




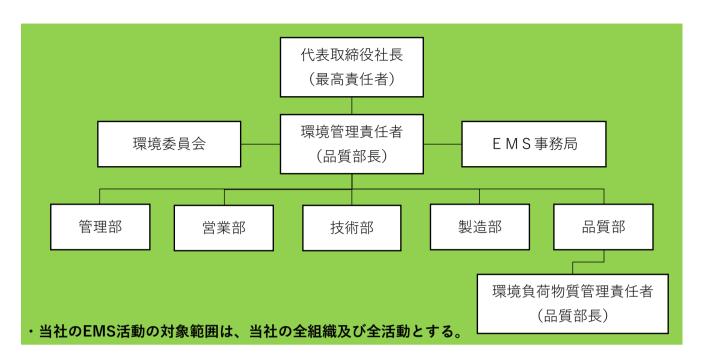




金型工場



環境経営組織



職名	役割
代表取締役社長	イ)環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。
(環境最高責任者)	当該責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を
	明示する。
	ロ)EMSの構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・
	機器設備・技術技能を含む)を準備する。
	ハ)環境経営方針を制定する。
	二)EMSの構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標を
	はじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者	イ)EMSに関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を
(品質部長)	達成するために、環境委員会を運営する。
	口)EMSの構築と運用を円滑に行い、社長による見直しのための情報
	として、その構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
EMS事務局	環境管理責任者を補佐し、EMSに関する実務全般を所管する。
環境委員会	環境管理責任者が招集して開催する。メンバーは各部署長以上を原則とし、
	必要に応じ環境管理責任者が認めた構成員を出席させる事が出来る。
環境負荷物質管理責	当社の環境負荷物質管理について教育し、管理の実施、維持する責任と
任者(品質部長)	権限を有する。
部署長	自己の管理範囲内における管理責任者として、全員参画によるEMSの運用
	及び管理に責務を負い、部署内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上
	を図る。
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、決められたことを
	守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。



環境経営目標とその実績

本年度は第5次中期目標(2020年度~2022年度)の中間年度となります。 2020年度からガイドライン2017年度版への移行をしました。

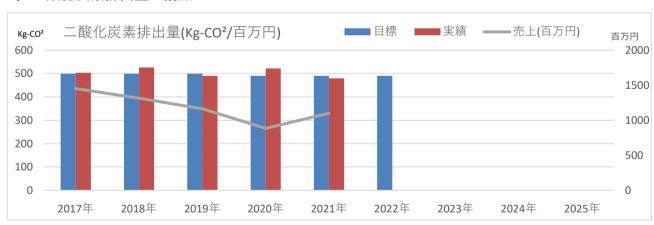
1. 環境経営目標(第5次中期目標)

項目	監視・抑制	単位	'19年BM	'20年目標	'21年目標	'22年目標	対BM比
二酸化炭素排出量	維持	kg-CO²/百万円	490.4kg-CO ²	490.4kg-CO ²	490.4kg-CO ²	490.4kg-CO ²	± 0%
廃棄物排出量	監視	kg/百万円	124.0kg	推移監視	推移監視	推移監視	_
総排水量	削減	㎡/百万円	9.3 m³	7.0 m³	5.9 m³	4.7 m³	50%削減
化学物質の適正管理	監視	定性目標	_	適正管理	適正管理	適正管理	_
マテリアルバランス	削減	%	23%	21%	19%	16%	30%削減

2. 環境経営目標の実績(2021年度)

項目	監視・抑制	単位	'19年BM	'21年目標	'21年実績	対目標比	達成状況
二酸化炭素排出量	維持	kg-CO²/百万円	490.4kg-CO ²	490.4kg-CO ²	479.0kg-CO ²	2.3%減	\circ
廃棄物排出量	監視	kg/百万円	124.0kg	推移監視	126.4kg	1.9%増	\triangle
総排水量	削減	m³/百万円	9.3 m³	5.9 m³	7.0 m³	18.6%増	\triangle
化学物質の適正管理	監視	定性目標	_	適正管理	適正管理		0
マテリアルバランス	削減	%	23%	19%	19.4%	0.4%多	\triangle

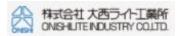
3. 二酸化炭素排出量の削減



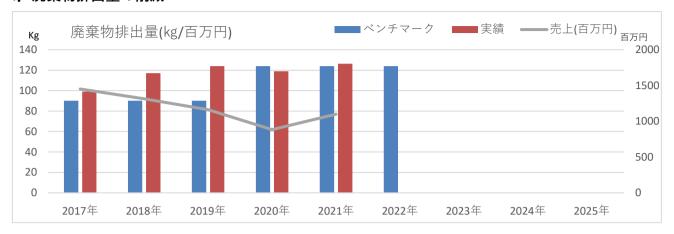
売上100万円当たりの二酸化炭素排出量を、当社エネルギー使用量を基に算出しています。 2021年度目標の490.4kg-CO²/百万円に対して、実績は479.0kg-CO²/百万円、対目標比2.3%減で目標を達成。

前年度はコロナ禍で売上の落ち込みが大きく影響したが、今年度は売上が回復し、目標の490.4kg-CO²/百万円より削減する事ができた。

※二酸化炭素排出量 $(kg-CO^2)$ を計算するのに、電力使用量(kWh)に CO^2 排出係数 $(0.378kgf/CO^2)$ を掛けて算出しています。



4. 廃棄物排出量の削減

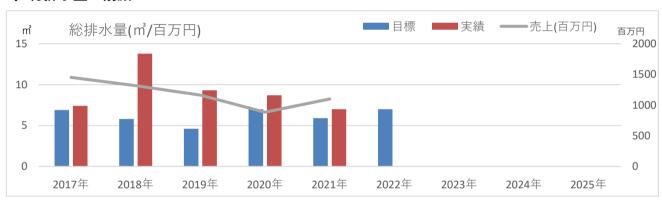


売上100万円当たりの廃棄物排出量を算出しています。

前期に引き続き目標値は定めず監視項目としました。

2019年度ベンチマーク(以後BM)の124.0kg/百万円に対して、2021年度の実績は126.4kg/百万円、対BM比で1.9%増加。

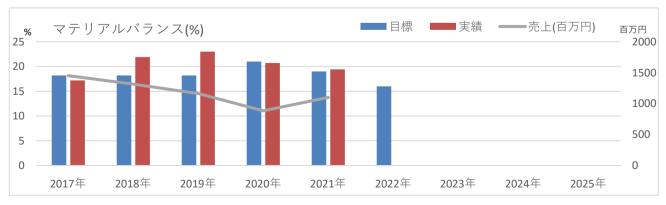
5. 総排水量の削減



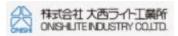
売上100万円当たりの総排水量を算出しています。

2021年度目標の5.9㎡/百万円に対して、実績は7.0㎡/百万円、対目標比18.6%増で目標は未達。 前年度実績の8.7㎡/百万円よりは1.7㎡/百万円減少したが、目標の5.9㎡/百万円は達成できません でした。

6. マテリアルバランスの改善

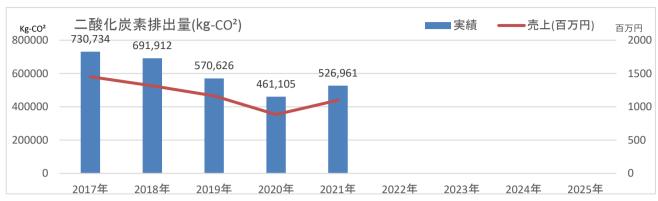


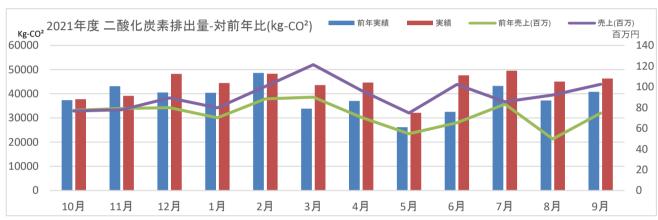
プラスチック材料の購入量・廃棄量からマテリアルバランス(廃棄率)を算出しています。 2021年度目標の19%に対して、実績は19.4%、対目標比0.4%多く、目標は未達。



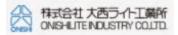
環境経営活動の取組と評価

1. 二酸化炭素排出量削減への取組

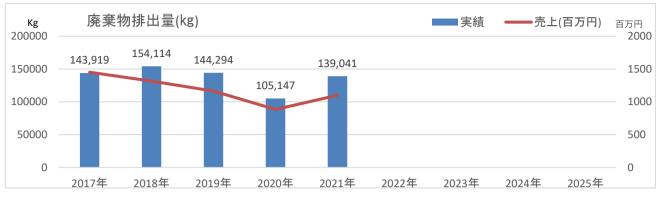




環境経営方針	環境経営目標		環境経営計画	・評価・次年度の取組内容		
二酸化炭			電力によるもので、紹使用への削減をメインのLED化と工場エアニ明器具・空調機器の使した。二酸化炭素の紹	による二酸化炭素排出量のほとんどは購入 計開始以来95%以上で推移しており、電力 に取り組んできました。第4次中期に照明 ロンの省エネ化に取り組み、第5次中期は照 使用管理の監視を徹底し、節電に努めてきま 計出量は2019年度BMの47,552kg-CO ² /月 責は43,913kg-CO ² /月で、7.7%削減。		
素排出量	電気	Į		 環境活動計画 次年度の取組内容		
削減		成形工場の	照明の明るさを管理し、工場エリア毎に照)主要な照明の監視 度を設定してエネルギー消費を抑える。			
		成形工場の)主要なエアコンの監	冷暖房の温度設定を管理し、設定温度の急		
		視		激な上下によるエネルギー消費を防ぐ。		
		夏季、営業	(室の屋根散水とファ	室温を下げることで、エアコンの使用を制		
		ンコイル併	用による節電	限し、電力使用量を抑える。		
		冬季、コン	プレッサーの排熱利	室温を上げることで、エアコンの使用を制		
		用で作業場	号のエアコンの節電	限し、電力使用量を抑える。		



2. 廃棄物排出量削減への取組

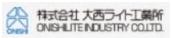


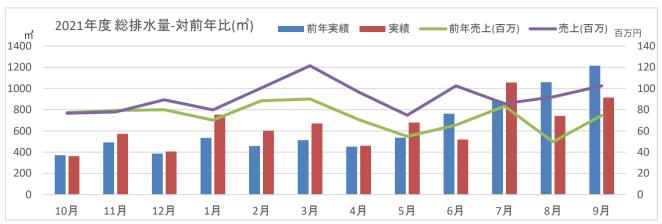


環境経営方針	環境経営目標	環境経営計画・評価・次年度の取組内容			
廃棄物排 出量削減	廃棄物	取組結果 と評価	プラスチック廃棄物の削減を中心に取り組んできました。売上げの変動や生産品目の構成の変化に伴って大きく変動する総重量自体は監視対象とし、再利用の向上など、個別の課題に目標を設定して取り組んできた。廃棄物の総排出量は2019年度BMの12,025kg/月に対し、2021年度実績は11,587kg/月で、3.6%削減。		
		Ę	- 環境活動計画 次年度の取組内容		
		ポリカーホ	主要製品の粉砕使用率を管理し、廃棄ロス		
		利用を監視		の削減を図る。	

3. 総排水量削減への取組







環境経営方針	環境経営目標	環境経営計画・評価・次年度の取組内容			
総排水量		取組結果 と評価	し、節水に努めてきま	スプリンクラーの使用を管理・監視を徹底 こした。水の総使用量は2019年度BMの897 度実績は645㎡/月で、28.1%削減。	
松妍小里 削減	総排水量	玛	環境活動計画 電力	次年度の取組内容	
月リル以		営業室のファンコイルの監視		ファンコイルの使用時間・流量を管理し、	
				節水をする。	
		営業室の散水スプリンクラーの		散水スプリンクラーの使用時間・流量を管	
		監視		理し、節水をする。	

4. 環境負荷物質管理への取組

環境経営方針	環境経営目標	環境経営計画・評価・次年度の取組内容				
化学物質		取組結果 と評価 関の「見える化」を図		る化学物質の情報を効率的に把握・適正に管 客様に提供して来ました。管理するすべき物 図るために環境負荷物質管理台帳を維持し、 けると共に、購入量を照合し、化学物質の使 け。		
適正管理	化学物質	Į	環境活動計画	次年度の取組内容		
過止官垤		PRTR法対象化学物質使用量を				
	把握し、国	へ報告	 引き続き消防法・安全法等を含め適合する			
		化学物質調査		よう適正に管理をする。		
		分析データ	'、不使用(非含有)証	よ / 旭上に日在でする。		
		明書及びS	DS管理			



5. マテリアルバランス改善への取組

環境経営方針	環境経営目標		環境経営計画	・評価・次年度の取組内容
		取組結果 と評価	100%です。マテリア 有価買取への転換や廃 た、再生材の活用やか 定では『新規のマテリ し、営業部・技術部を	イクルを含むプラスチックの再資源化率は ルリサイクル率95%以上を維持するために、 産業ロスの削減に取り組んできました。ま ベットランナー化の推進・ガイドラインの設 アルバランス改善ガイドライン』を作成 中心に社内に展開をしました。また、成形 計画の段取りの最適化によるダンゴの削減に こ。
		ij	環境活動計画	次年度の取組内容
		品目別のマ	'テリアルバランスを	個別の課題として捉え、廃棄ロスの削減に
		把握し、分	が析する	繋げる
マテリア ルバラン スの改善	破棄ロス		ンの則った新規部品 団とホットランナー	①大型案件はホットランナー、粉砕、リペレット利用を検討し、原価・工程設定に反映する ②材料使用量100t以上/年、稼働1週間以上/月の条件に該当する場合、ホットランナー型の立上を顧客に提案する ③特定材は再生材利用前提で検討・立ち上げる
			によるダンゴの削減	立上げ時やチョコ停による捨てショット数 を減らし、廃棄ロスを削減する 立上げ時に発生する材料替えによるパージ
		ダンゴの削		を作業を減らし、廃棄口スを削減する
			<u>''''^</u> 動による不良品廃棄	不良品作らないことで、廃棄ロスを削減す
		の削減		3

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規の主なものは以下の通りで、遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。

昨年度の外部からの苦情は特にありませんでした。

適用環境関連法規等	要求事項	該当施設適用項目	遵守状況
自動車から排出され		社有車自動車の排出	
る窒素酸化物の特定	1. 事業者は、事業活動に伴う自動車NO	ガス	
の地域における総量	x・PMの排出抑制のために必要な処置をと	普通車3台	遵守
の削減等に関する特	ること(法4条)	バン2台	
別処置法		トラック1台	



適用環境関連法規等	要求事項	該当施設適用項目	遵守状況
水質汚濁防止法	1. 特定施設の事故時の措置(法14の2)	少量危険物として保 管している機械油、 灯油が貯油施設等に 該当する 消防法:危険物貯蔵 取扱い届出により対 応済	遵守
浄化槽法	1. 新設又は変更時に届出(法5) 2. 保守点検の技術上の基準を順守すること(法8条施行規則第2条) 3. 年1回定期検査を受ける(法11) 4. 清掃の技術上基準を遵守すること(法9 条施行規則第3条)	浄化槽は所属組合で 管理	遵守
騒音規制法	1. 騒音規則法における特定施設(法2施行令1条別表1) 2. 特定工場において発生する騒音の規制 基準(法5) 3. 市町村に特定施設の設置・変更・廃止などの届出(法6、8、10、11、14など)	騒音特定施設一覧表 参照	遵守
振動規制法	1. 振動規則法おける特定施設(法2施行令 1条別表1) 2. 特定工場において発生する振動の規制 基準(法5) 3. 市町村に特定施設の設置・変更・廃 止・継承などの届出(6、8、10、11、14な ど)	振動特定施設一覧表参照	遵守
廃棄物の処理及び清 掃に関する法律	1. 事業者の責務(法3条) 2. 事業者はその廃棄物を自ら処理しなければならない(法11) 3. 産業廃棄物の収集運搬及び処分委託基準(施行令第6条の2) 4. 産業廃棄物保管基準(法12条の2施行規則8条) 5. 廃棄物処理法(第12条の3第6項)	1. 産業廃棄物保管場所の整備 2. 産業廃棄物の種類・量表示 3. マニフェスト管理 4. 産業廃棄物管理票(マニフェストに要)の交付等状況	遵守



適用環境関連法規等	要求事項	該当施設適用項目	遵守状況
労働安全衛生法	1. 安全管理者及び衛生管理者を設置し、 各委員会の設置及び開催など(法11条、法 12条、法17条、法18条) 2. 作業主任者の選任有機溶剤作業(法14 条施行令6条施行規則16条) 3. 作業環境測定の実施及び健康診断の実 施(法65条施行令21条、法66条)		遵守
消防法	1. 指定数量以上の危険物の貯蔵、取り扱いの制限(法10条) 2. 貯蔵・取扱危険物の品名等の変更届(法11条) 3. 消防用設備設置(法17) 4. 防火管理者の設置(法8) 5. 指定数量未満危険物及び指定可燃物の貯蔵、取り扱い場所(法9条の4)	1. 危険物貯蔵取扱 所 2. 消防用設備	遵守
群馬県の生活環境を 保全する条例	1. 粉じん特定設置の設置等の届出(条例 26) 2. 公害防止責任者 常時使用する従業員が21人以上の工場で、 騒音特定施設を有する工場	1. 粉じん特定施設 一覧表参照 2. 粉じん特定施設 騒音特定施設 振動特定施設	遵守
フロン排出抑制法	1. 「管理者判断基準」の遵守 1) 適切な場所への設置等 2) 機器の点検 3)漏えい防止措置、修理しないままの 充填の原則禁止 4) 点検整備の記録・保存 2. フロン類算定漏えい量の報告 3. 機器整備時におけるフロン類の充填及 び改修の委託	第一種特定製品 エアーコンディショ ナー(冷蔵冷凍機器 も含まれるが、当社 には該当冷凍冷蔵機 器なし)	遵守



7. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 環境管理責任者からの報告に対する評価のコメント

〔目標実績について〕

2021年度として原単位廃棄物の増は製品構成の変化で理解できるが、マテリアルバランスが未達でも改善している状況とは矛盾が無いか。後者については特に当該年度は材料在庫を積み増しており、使用量ではなく仕入量のみを根拠としている場合は実態と異なる指標になっている恐れがある。内容を確認して必要であれば見直さなければならない。 (…材料使用実績収集の構成引落し→出庫払出し化に伴い、仕入量ではなく出庫量を基準にマテリアルバランス集計を変更する?)

〔今期の見直しによるフォロー状況・結果について〕

特になし。

2)環境方針・環境目標・環境活動計画・環境経営システムについての変更の必要性 〔活動計画について〕

特になし。

〔環境目標について〕

特になし。

代表取締役社長 大西健太郎 天西